EA705EH　フルオロカーボンリークディテクター

低コスト、ハンディー型フロンガスリークディテクターです。
性能は、姉妹機D-TEK(EA705EG)でその優秀さを十分
証明した"電気化学センサー"(加熱ダイオードセンサー)
を採用しています。

全てのCFC、HCFC、そしてHFCフロンガスに対して反応し、
冷媒ガス種の違いによる調整は不要です。バックグランド
の変化による「ゼロ点調整」は、自動的に補正されます。
また、湿気のある雰囲気中でも的確にリークガスを検知
します。

アラームのピッチ音(強弱)であらゆる冷媒の漏れ量を
知らせます。
単一乾電池2本で長時間稼動します。

《仕様》
標準セットには、センサー、単一アルカリ電池2本、予備フィルター、プラスチック携帯ケースが付属しています。

感度	(CFC_S、$HCFC_S$、HFC_S)　5g/年
スイッチ	押しボタン式　電源OFF/電源ON、感度「低」/感度「高」
電源	単一アルカリ乾電池2本
ゼロ調整機能	自動
重量(電池装着時)	580g
使用温度範囲	-10℃～60℃
プローブ	フレキシブルメタル(クロームメッキ)/約43cm
ガス吸引方式	吸引ポンプ
寸法	270×65×70mm

《テクニカルノート》
冷媒用リークディテクターには、セラミック基盤に埋め込まれた反応電力と高温を保つ加熱電極を組込んだ
"電気化学センサー"を採用しています。
この加熱された"電気化学センサー"表面にハロゲン系のガスが接触すると、塩素、フッ素、臭素等の
原子は、化合物分子から分離し、イオン化し、セラミックの中に電流が流れ、中心の電極に収集されます。
この"電気化学センサー"は、R11や12等のCFCフロン、R22やR123等のHCFCフロン、R134aに代表
されるHFCフロンはもちろんのこと、R404aやR410a等の混合冷媒に対しても同等の反応を得られます。
そのため検査作業者が使用するフロンガスの種類を確認したり、スイッチを切替える必要はありません。
また、HFC系フロンの検査をしているときに、塩素系の気体が存在していても過敏な反応はしません。

"電気化学センサー"の生み出す「自動バックグランド補正機能(オートゼロ)」は、作業環境のバック
グランドレベルの変化(ノイズ)を自動的に補正し、作業者の調整操作を必要としません。